

発電所だより

平成22年2月発行 東北電力株式会社女川原子力発電所広報課 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111 原子力の情報をホームページで公開しています。 <http://www.tohoku-epco.co.jp>

2月号

トピックス

女川原子力発電所1～3号機の累積発電電力量が 2,000億kWhを達成しました

1月7日に、当発電所1～3号機は累積発電電力量2,000億kWhを達成しました。このたび達成した2,000億kWhは、宮城県内で1年間に使われる電力量（平成20年度実績：150億2,000万kWh）の約13年分に相当するものです。

この電力量をすべて石油火力により発電した場合と比べると、約1億4,000万トンのCO₂の排出を抑制したことになります。これは、日本全体の年間CO₂排出量（平成19年度実績：約13億7,400万トン）の約1割に相当する量です。

1号機が昭和58年11月に試運転を開始して以来、地域の皆さんに支えられながら、東北地域への電力の安定供給に大きく貢献するとともに、地球温暖化防止の観点からも大きな役割を果たしています。

今後も、安全を最優先に、地域の皆さんから信頼していただける発電所を目指してまいります。



【発電所の運転状況（1月末現在）】

号機	運転状況	主な動き
1号機	運転中	順調に運転しています
2号機	運転中	順調に運転しています
3号機	運転中	順調に運転しています

トピックス

労働災害防止対策の一環として、リスクアセスメント研修を実施しました

1月20日、労働安全コンサルタントの水無瀬 守先生をお迎えして、リスクアセスメント研修を実施しました。

リスクアセスメントとは、労働災害を防止するために職場の潜在的危険性などを見つけ出し、これを除去・低減するための手法で、参加した発電所職員は、本手法を実務に役立てるため、真剣に研修に取り組みました。



▲参加者は演習・発表を行うことでリスクアセスメントに対する理解をさらに深めました

トピックス

女川原子力発電所総合消防訓練を実施しました

1月26日、火災発生時における初期消火活動の強化や、自治体への情報連絡体制の確認を目的として、石巻地区広域行政事務組合消防本部と合同で総合消防訓練を実施しました。

本訓練では、放射線管理区域内で火災が発生したことを想定した初期消火活動の訓練や通報・情報連絡訓練、屋外変圧器油火災を想定した放水訓練などを行いました。



▲放水訓練を行う発電所の自衛消防隊員たち

第8回東北電力図画コンクールに応募いただいた全作品を イオン石巻ショッピングセンターで展示しました

第8回東北電力図画コンクールに応募いただいた全4,602作品について、1月16日から24日まで、石巻市蛇田のイオン石巻ショッピングセンターで展示しました。

展示期間中は、多くの皆さまにご来場いただきました。ありがとうございました。



▲全作品展示の様子

第8回東北電力図画コンクール最優秀賞・優秀賞入賞作品のご紹介



最優秀賞



優秀賞



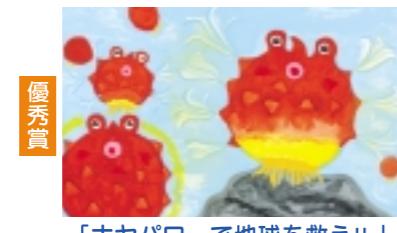
優秀賞



優秀賞



優秀賞



優秀賞



優秀賞



優秀賞

「地球温暖化を救う
『神聖海馬(しんせいシーヴァ)』」
加藤 譲さん

* 新エネルギーのメリットとデメリット *

太陽光発電や風力発電などの新エネルギーは環境へ与える影響が小さく、資源の制約が少ない国産エネルギーであり、エネルギーセキュリティの確保や地球環境問題に貢献するというメリットがあります。

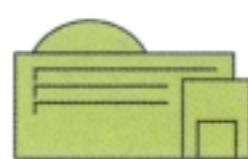
しかし、原子力発電を新エネルギーに代えるとなると、原子力発電所1基分の電気をつくるだけでも広大な土地が必要となり、国土の狭い日本では現実的に不可能です。また、太陽光や風力は設備にかかるコストが高い上に、雨の日や風の吹かない日は発電できないなどの問題もあります。



©i&T

原子力発電所

100万kW級1基
(約2,800億円)
現在54基稼働



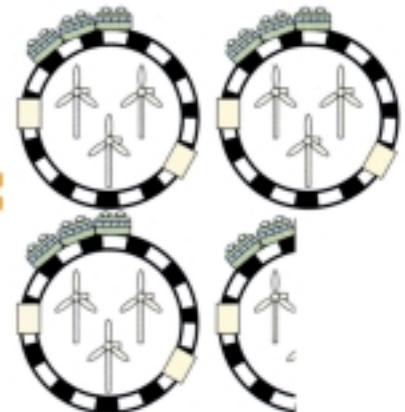
太陽光発電

山手線とほぼ同じ面積(58km²)
(約3.9兆円)



風力発電

山手線の3.4倍の面積(214km²)
(約8,700億円)



原子炉1基あたりに要する面積

- 原子炉建屋+タービン建屋
…0.012km² *
- 敷地全体………0.6km² **

* 柏崎刈羽原子力発電所7号機(電気出力:135.6万kW、原子炉形式:ABWR)の場合

** 全原子力発電所の敷地面積の合計を稼働基数(54基)で割った値

出典: 原子力 2010 [コンセンサス]